



# 川口けいすけのグリーンズ川越

41

since2003

編集/発行 川越市議会議員 川口 啓介(無所属)

〒350-8601 川越市元町1-3-1 議員控え室 川越市役所6F

TEL 080-3025-5776 FAX 049-227-3810 E-mail kawaguchi-keisuke@nifty.com

今定例会は21年度補正予算など15議案を可決し、6月29日に閉会しました。（中面に関連記事）今回、私の一般質問は「川越市の平和施策について」と題し、世界中で約3,000の都市が加盟する『平和市長会議』への参加を求めた他、小中学校での歴史教育の実態にも迫り、平和都市宣言をしている自治体として、新たな平和への取り組みを提案しました。



## 中高生183人に独自リサーチ

平和に関する学習  
市教委と認識にズレ

私が小中学生の頃、社会科や歴史の授業はいつも昭和に入ったぐらいからは駆け足で、授業の中で戦争や平和について学び考える時間はほとんど無かったように思います。今回のリサーチでは、中高生にそれぞれ小中学生だったときの社会や歴史の授業はどうだったのか、私が一人ひとり聞いて回り、何人かの高校や市外の先生方にもお話を伺い、その結果を基に一般質問を行ないました。

Q. 歴史の授業の中で、昭和時代以降の時間のかけ方はどうでしたか。

- |                |       |
|----------------|-------|
| ① 少し急いでいた      | → 51% |
| ② かなり飛ばし飛ばしだった | → 26% |
| ③ 覚えていない       | → 17% |
| ④ 他の時代と同程度     | → 6%  |

[このリサーチは中学生には小学生時代を高校生には中学生時代を思い出してもらったものです。]

### 歴史の授業-昭和以降は『さ~っと流す感じ』

予想通りの結果でした。データとして精度の高いものではないかもしれません。しかし、卒業生の印象はこのようなものだったということは言えるでしょう。

①の「少し」には幅があると思い、出来るだけ「少し」ってどのくらい?と聞きました。そして、最も多い答えが「さ~っと流す感じ」でした。これは結構急いでいる印象です。

また、先生方はすべての方が①番が実態だと思うとお答えになりました。

(皆様ご協力ありがとうございました。)

1回目の学校教育部長の答弁では、小中学校でまさに理想的といえる学習が行なわれているとの答弁でしたが、2回目の答弁ではリサーチ結果を受け、各学校での指導計画の作成や指導方法の改善について、学校を訪問して指導していきたいとの方針を示しました。

「日本人は歴史を学んでいない」などと言われることがありますが、今回の結果はこれを裏付けるものとなってしまいました。これは歴史認識や思想の違い以前の問題です。教科書の後ろのページに書かれているから最後まで終わらな

かったというのが、本当のところでしょう。

今年で戦後64年目。当時20歳だった方は84歳、戦時下の体験を語れる方も少なくなり、子どもたちが体験談を聞く機会はほとんどありません。今回、学校でこういった機会を設けることを他市の例も紹介しながら提案しましたが、前向きな回答はありませんでした。しかし、10年後にはもう検討することすら出来ない事業ではないでしょうか。私は、戦争がリアリティを失っている今、もう一度平和について歴史から学び、考えることの必要性を感じています。